

全国農業教育新聞

第1号

発行所
全国高等学校農場協会

東京都渋谷区
円山町2-20

民の希いは 繁栄の 歴史新たに おこるとき
進む技術の研鑽に 喜び集う 農場協会

第587号 平成29年9月15日

(年4回発行)

全国大会並びに研究協議会 が実施されました。

平成29年度第66回全国大会並びに研究協議会が、6月1日、2日に星陵会館において開催されました。前日5月31日には、全国理事会も農場協会会館にて開催されました。



衆議院議員 石破 茂先生

開会式は、衆議院議員 石破茂先生、衆議院議員 宮川典子先生、参議院議員 山田俊男先生、元衆議院議員 大野松茂先生はじめ、多くの来賓をお迎えし、今年も盛大に開催されました。石破先生からは、当会及び農業高校を応援する旨の力強いお言葉をいただきました。総会では、昨年度の報告と今年度の計画が提案され承認されました。また、日置司明先生が公益財団法人

全国学校農場協会理事長に
就任されました。

来賓紹介

衆議院議員 石破茂先生、衆議院議員 宮川典子先生、参議院議員 文部科学副大臣 水落敏栄先生、衆議院議員 石田祝稔先生、衆議院議員 奥野信亮先生、衆議院議員 あべ俊子先生、参議院議員 山田俊男先生、衆議院議員 衛藤征士郎(代理)、衆議院議員 伊藤達也(代理)、衆議院議員 稲津久(代理)、衆議院議員 井上信治(代理)、衆議院議員 田所嘉徳(代理)、元衆議院議員 大野松茂先生、元参議院議員 西岡武夫(代理)、文部科学省初等中等教育局 児童生

徒課視学官・産業教育振興室長 高見太也様、文部科学省 初等中等教育局児童生徒課産業教育振興室 産業教育調査官 堀内昭彦様、農林水産省 経営局就農・女性課課長 佐藤一絵様、女性課経営専門職 会田陽一郎様、公益財団法人産業教育振興中央会専務理事 富岡逸郎様 一般社団法人全国農業会議所新規就農・人材対策部長 黒谷伸様、一般社団法人全国農業会議所日本農業技術検定 参事役 五十嵐正裕様、全国農業協同組合中央会参事 馬場利彦様、尚美学園大学学長 久保公人様、日本農業経営大学校常務理事 兼 事務局長 戸山章弘様、一般社団法人里山ルネッサンス機構理事長 田邊敏憲様、全国農業高等学校校長協会理事長 福島実様、株式会社農文協プロダクション代表取締役 鈴木敏夫様、ベストワールド株式会社代表取締役 八尾修生様、ベストワールド株式会社常務取締役 森航二様、ベストワー

会員の皆様へ



衆議院議員 宮川 典子 先生

会長挨拶

東京都立農芸高等学校
校長 岡本利隆

会員の皆様には、日頃より本協会への御支援・御協力を賜りまして、心より感謝申し上げます。

今年度も、皆様のお力添えを頂きながら、農業教育の更なる充実と全国農業関



岡本利隆 校長

係高校並びに本協会の発展のために、微力ではありませんが尽力致しますのでよろしくお願ひします。

本協会は、昭和27年の発足以来、高等学校農業教育の振興を図ることを目的として活動を推進し数々の成果を挙げて参りました。しかし、約10年前に行われた行政改革等により、私たちが行っている要望の在り方に改善が求められる状況となり、昨年12月の要望書より着手致しました。今後、要望の内容や方法につきまして更なる検討を行い、農業教育の振興を図れるよう努めてまいります。また、昨年8月には全国高等学校農場協会、公益財団法人全国学校農場協会、全国農業高等学校校長協会（日本学校農業クラブ連盟を合

む）の農業教育三団体の役割が不明瞭であるとの指摘を受けました。各団体の事業を棲み分ける等、役割の明確化に向け、昨年12月より協議を開始しています。本協会の設立目的の遂行はもとより、農業教育団体の一つとして、必要とされる存在であり続けるためにも改善協議に取り組んでまいります。

さて、日本の農業は、政府による数々の改革で、大きな変容を遂げつつあります。そして、ここに来て、東京五輪・パラリンピックにおける食材調達基準がグローバルGAPと同水準のものとして示されたことで、それに適合する国産農産物の供給体制を確立することが急務となりました。

今年4月の日本農業新聞には「GAP取得加速へ」と題して、政府は農産物の輸出拡大や有利販売も含め、認証を促すとの記事が出ました。ご承知の通り、青森県立五所川原農林高校の生徒の皆さんが「りんご」と「米」でグローバルGAP

を取得し話題となりました。このような背景から、全国の農業関係高校にもGAP教育の導入を促すため、5月23日に衆議院第一議員会館において「農業高校のGAP教育推進に関する意見交換会」が、また本協会の今年度全国大会初日に星稜会館において「農林水産高校を応援する会」総会が開催され、GAP教育の必要性の説明に加え、意見交換が行われました。

将来の成長産業として期待されている農業をさらに拡充するために、政府は様々な政策的支援と機会を逃さない戦略を前面に打ち出しています。これにより農業の可能性をさらに広げ、農産物生産に留まることなく農村ビジネス等の多面的価値を確実に生み出す時代が到来しています。

日本は、人口減少の進行とともに、超高齢化社会に突入しています。このことは、地域を支える人材は、その地域が育成し輩出しなければ、衰退の一途を辿ることを現しています。私た

ちは、多様な学習指導を通じて、地域の農業や社会を支える自立した人材を育成する学校として、尽力して頂くことをお願い致します。御挨拶とさせていただきます。

29年度

本部及び各支部人事

本部役員

会長 岡本 利隆

(東京・農芸高校) 副会長 小堀 紀明

(東京・瑞穂農芸高校) 副会長 並川 直人

(東京・農産高校) 副会長 齋藤 義弘

(東京・農業高校) 総務局長 岡本 利隆

振興局長 篠原 祐治

(東京・農業高校) 広報局長 神谷 晶平

(東京・農芸高校) *事務局 日置 司明

新事務局長

支部長

北海道支部 篠原 圭

(北海道・大野農業高校)

Advertisement for Nankyo University (南九州大学) featuring various departments like Environmental Horticulture, Health Nutrition, and Management Nutrition, along with contact information and a QR code.

東北支部 佐々木 惇
(秋田・大曲農業高校)
関東支部 岩本 敏央
(栃木・小山北桜高校)
北信越支部 野村 靖人
(富山・小矢部園芸高校)
近東支部 小川 正樹
(岐阜・岐阜農林高校)
中国支部 吉田 要
(鳥取・倉吉農業高校)
四国支部 橋本 孝之
(愛媛・上浮穴高校)
九州支部 立野 秀行
(宮崎・高鍋農業高校)